

区内初！小中一貫教育を行う義務教育学校

有明西学園の開校

教科担任制や英語・ICT教育の充実など、特色ある教育活動を展開

新たな取り組み**事業経費**

教科担任制講師配置事業

149万円

小・中学校コンピューター教育推進事業 3,383万円

◆事業内容

- 区内初となる小中一貫教育を行う義務教育学校「有明西学園」が平成30年4月に開校します。有明西学園は、9年間の学びの充実と社会に開かれた学校を目指します。
- 校舎は地場産業である木材を多用し、内外装の木質化に加え、一部を木構造としました。
- 前期課程(※) 5～6年生において、独自に講師を任用し、教科担任制を実施します。
- 区の国際交流員を活用した英語教育の充実や電子黒板等を活用した学校ICTの推進など、特色ある教育活動を展開します。

※ 小学校段階に相当する6年間は前期課程、中学校段階に相当する3年間は後期課程

◆有明西学園の概要

所在地	有明一丁目7番13号
面積・構造	(敷地)約20,185㎡ (延床)約24,500㎡ 地上5階建(一部木構造、施設一体型)
教室等	普通教室48学級、特別教室、プール×2、屋内運動場×2、特別支援教室、江東きっずクラブ(※)
主な特色	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9年間を見通した目標設定 ○ 5年生からの教科担任制(理科、外国語活動等) ○ 英語教育の充実(区の国際交流員を活用し、英語に触れる機会を創出) ○ 学校ICTの推進(全普通教室・特別支援学級に電子黒板を常設) ○ 前期課程から標準服を導入 ○ 前期課程から部活動への参加が可能 ○ 学年を超えた交流活動(日常生活や学校行事など)

◆他区の状況

義務教育学校の設置は品川区に続き2例目

※ 学校施設などを活用し、放課後等に児童が安全で安心して過ごすことのできる居場所・生活の場

有明西学園 完成イメージ



長期計画の該当項目：施策8 確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成

担当課：学校支援課・学務課・指導室

窓口：6階3番・6階2番・6階4番

電話：【学校支援】3647-9307 【学務】3647-9176
【指導室】3647-9179内線：【学校支援】3393 【学務】3334
【指導室】3386

安心してこどもを産み育てられるまちを目指して

認可保育所の整備を推進

区有地を活用し大規模保育所を整備！

新たな取組み

事業経費

28億4,088万円

◆事業内容

- 保育需要へ迅速に対処するため、民設民営による保育施設の整備などにより、約1,000人の認可保育所定員の増を図ります。
- 平成31年開設に向け、区有地である旧深川清掃事務所跡地に大規模な認可保育所を整備します。

開設時期	所在地	定員数	備考
平成31年4月	計画中	計約1,000人	平成31年4月の開設に向け、認可保育所を整備 ※ 開設場所、施設数(定員)については、保育需要の状況等に応じて決定

◆旧深川清掃事務所跡地における整備計画概要

区有地である旧深川清掃事務所跡地を活用し、白河地区に大規模認可保育所を整備します。

<施設概要>

所在地 白河4丁目

定員 170人

<整備スケジュール>

平成30年3月 旧深川清掃事務所の解体完了

平成30年6月 本体工事着工

平成31年4月 開設(予定)



旧深川清掃事務所



整備する保育所室内(イメージ)

◆平成29年度整備実績(平成30年度開設予定)

施設	定員数	備考
MIWA木場公園保育園	130人	国家戦略特区を活用した都市公園(木場公園)内での保育所整備
小規模保育事業所 6園	111人	待機児童対策として0~2歳対象の小規模保育事業所を緊急整備

この他、平成30年度中に開設する施設や既存施設の定員変更を含め、900人を超える認可保育所定員の増を図りました。

長期計画の該当項目：施策6 保育サービスの充実

担当課：保育計画課
窓口：3階12番奥

電話：3647-9638
内線：2791

待機児童解消のための緊急対策

定期利用保育事業の実施

認可保育所の空きスペース等を活用して1～2歳児の保育を実施

新たな取組み

事業経費

7,166万円

◆事業内容

認可保育所等を入所待機となった1～2歳児を対象に、区立保育所の延長保育室や私立保育所の空きスペース等を活用し、当該年度に限り保育を行う「定期利用保育」を実施します。

◆目的

施設整備による待機児童対策を補完する緊急対策として、区立保育所の延長保育室や、新規開設の私立保育所で4～5歳児クラスの欠員が生じた保育室等を活用し、待機児童の積極的な解消を図ります。

◆事業概要

	区立保育所	私立保育所
実施場所	塩崎保育園	平成30年度新規開設私立保育所 ※ 実施する保育所は、施設環境や欠員状況により決定
対象児童	認可保育所等を入所待機となった2歳児	認可保育所等を入所待機となった1～2歳児
利用可能人数	45名(区立及び私立保育所合計)	
保育時間	月曜日から土曜日の 午前9時から午後5時まで	保育所開所時間中における11時間以内
保育料 (月額)	8時間以内利用:44,000円 8時間超11時間以内利用:53,000円(区立保育所は対象外) ※ 認可外保育施設保護者負担軽減事業(※)の補助対象事業となります。	

※ 保育料の負担を軽減するため、保護者の市区町村民税額に応じて、補助を行う事業

◆他区の状況

23区中10区で実施



長期計画の該当項目：施策6 保育サービスの充実

担当課：保育課

窓口：3階12番

電話：3647-9084

内線：2725

子ども家庭支援センターとこどもとしょかんの機能を有する複合施設

児童向け複合施設を新たに整備

児童会館敷地を有効活用し、特別養護老人ホーム等も整備

新たな取り組み

事業経費	児童向け複合施設整備事業	
	30年度	3,506万円
	総事業費	22億3,575万円

◆事業内容

- 児童会館の敷地を活用して、子ども家庭支援センターとこどもとしょかんの機能を有する、こどもや子育て家庭を対象とした複合施設を整備します。
- 同敷地の一部を活用し、民設民営による特別養護老人ホーム等を整備します。

◆目的

- これまで児童会館が有してきた役割を踏まえつつ、子ども家庭支援センターとこどもとしょかんを一体的に整備することにより、こどもの健やかな成長を地域とともに継続的に見守り、総合的に支援できる環境を構築します。
- 高齢者が住みなれた地域で必要な施設サービスを受けられる環境を整備するとともに、地域交流スペースの設置により、地域住民が気軽に利用できるコミュニティの拠点を整備します。

◆整備計画

児童向け複合施設	
所在地等	住吉一丁目9番 [敷地面積(現況)] 4,035㎡
面積	[児童向け複合施設敷地] 約1,125㎡
施設内容	子ども家庭支援センター(多目的スペース含む) こどもとしょかん
運営	指定管理者(予定)
スケジュール	平成30～31年度 基本・実施設計 平成31～33年度 解体・新築工事 平成34年度 施設運営開始

※ 同敷地の一部(約2,910㎡)を活用し、地域交流スペース等を併設した特別養護老人ホームを民設民営により整備



長期計画の該当項目：施策7 子育て家庭への支援 等

担当課：子育て支援課・長寿応援課・江東図書館
窓口：3階15番・3階8番

電話：【子育て】3647-4408 【長寿】3647-4331
【図書館】3640-3154
内線：【子育て】2783 【長寿】2614

国旗を通じて国際理解を促進

世界の国旗をオリンピック・パラリンピック教育等に活用

世界の国旗を使用して公共施設の外壁をデコレーション！

新たな取り組み

事業経費

275万円

◆事業内容

「江東区オリンピック・パラリンピック教育推進計画」に基づく独自の教育活動や東京2020オリンピック・パラリンピック関連イベントなどにおいて、世界の国旗(約200の国や地域、主なサイズ 70cm×105cm)を活用し、気運醸成や国際理解の促進を図ります。

◆主な活用例

<p>オリンピック・パラリンピック教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全区立小・中学校等で取り組んでいる「世界ともだちプロジェクト」(※1)の学習に活用 ○ 全区立小・中学校等で行っている「世界の国旗・国歌について学ぼう」(※2)の講演時に活用 ○ 世界のオリンピック・パラリンピアンとの交流時に活用
<p>イベントなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有明西学園などの公共施設での外壁デコレーションに活用 ○ 東京2020大会500日前イベントや江東区民まつりなどで活用

※1 世界ともだちプロジェクト: 東京2020大会参加予定国や地域について、こどもたちが主体的に調べる活動や体験、交流する活動で、各小学校等で5か国、各中学校等で10か国を担当

※2 世界の国旗・国歌について学ぼう: 世界の国旗の専門家(吹浦忠正氏)とプロのソプラノ歌手(新藤昌子氏)による「世界の国旗・国歌」をテーマにした講演を通じ、世界ともだちプロジェクトで担当する国の国旗・国歌等について学習(対象: 小学4~6年生、中学1~3年生)



「世界の国旗・国歌について学ぼう」講演の様子



江東区民まつり中央まつりの様子

長期計画の該当項目: 施策8 確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成

担当課: 指導室
窓口: 6階4番

電話: 3647-9179
内線: 3386

待機児童解消のための緊急対策

家庭的保育事業の実施・居宅訪問型保育事業の対象児拡大

家庭的な環境の中で0～2歳児の保育を実施

新たな取組み

事業経費	地域型保育扶助事業	1億8,978万円
	地域型保育補助事業	5,036万円

◆事業内容

待機児童解消のための緊急対策として、保育施設運営事業者が借り上げたマンション等で乳幼児を保育する「家庭的保育事業」を開始するとともに、「居宅訪問型保育事業」の利用対象を、従来から対象である障害、疾病等により集団生活が困難な乳幼児に加え、認可保育所等の入所が“待機”となった乳幼児に拡大します。

◆背景・特色

- 施設整備による待機児童対策を補完する緊急対策として、家庭的保育事業の実施、居宅訪問型保育事業の対象児の拡大により、0～2歳児が9割を占める待機児童の積極的な解消を図ります。
- マンションの1室や乳幼児の自宅等の家庭的な環境の中で、一人ひとりの乳幼児に合わせたきめ細やかな保育が可能です。

◆事業概要

	家庭的保育事業	居宅訪問型保育事業(待機児童対策)
利用可能人数	15名	18名
対象児童	0～2歳児	認可保育所等を入所待機となった0～2歳児
職員配置基準	乳幼児5人に対して、保育従事者2人	乳幼児1人に対して、保育従事者1人
保育実施場所	事業者が借り上げたマンション等	乳幼児の自宅
開設	平成30年4月から	

◆他区の状況

- 家庭的保育事業:23区中14区で実施
- 居宅訪問型保育事業(待機児童対策):23区中4区で実施



長期計画の該当項目：施策6 保育サービスの充実

担当課：保育課
窓口：3階12番

電話：3647-9084
内線：2725

潜在保育士の就職を支援
潜在保育士向け就職支援セミナーの実施
 保育人材確保により児童の受入体制を強化！

事業の拡充

事業経費

87万円

◆事業内容

区内の潜在保育士(※)の就職を後押しするため、保育に関する講義及び区内認可保育所で現場実習を実施します。

※ 保育士資格を有しながら、保育施設勤務から長期間離職している人、または保育施設勤務未経験の人

◆目的

最新の保育技術や知識など、保育の仕事に活かせる実践的なプログラムの講義・現場実習により、就労に対する不安を解消し、保育施設への就職につなげます。

◆特色・効果

- 区内保育施設の保育人材を確保することで、児童の受入体制の強化が図られ、待機児童解消の効果が期待できます。
- こうとう若者・女性しごとセンター(※)の協力により、現場実習受入施設との連携やセミナー終了後の受講者の就職を後押しします。

※ 女性や若者などの就職支援、区内中小企業の雇用・人材確保を支援するため、区が平成27年10月に開設した施設。求職者には、職業紹介や就職に向けたセミナー、企業との交流会等、就職に関する幅広い支援を実施

◆実施概要

	講義	現場実習
日数	2日間程度	3日間程度
講師・場所	講師：区内保育士養成機関等	場所：区内認可保育所
内容	保育制度、新保育指針 地域との関わり、保護者との関わり 食と栄養、危機管理、職場の人間関係等	保育受入環境の整備 遊び、散歩、食事介助、おむつ交換 連絡帳記入等

◆他区の状況

23区中5区で実施



就職支援セミナーでの講義(イメージ)

長期計画の該当項目：施策6 保育サービスの充実

担当課：保育課

窓口：3階12番

電話：3647-9084

内線：2725

江東区の英語教育の充実

小学校等への外国人講師派遣時間数を拡充

「英語が好き！英語で話したい！」という児童の願いを実現！

事業の拡充

事業経費

2,470万円

◆事業内容

平成32年度から新学習指導要領が完全実施されることを踏まえ、区立小学校等への外国人講師の派遣時間数を拡充し、これからの時代を生きるこどもたちに「使える英語」を習得させます。

◆目的・効果

- 外国語に触れ、外国の文化や生活に慣れ親しむ機会を積極的につくるために外国人講師を派遣し、体験的な学習を行うことにより、国際社会に生きる人材を育成します。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催により、世界中からたくさんの方々が江東区に来ることは、江東区のこどもたちがコミュニケーション力を発揮する機会となります。
- 外国人講師とのコミュニケーションの機会を増やし、江東区のこどもたちが英語に慣れ親しむ機会を充実させるとともに、「英語スタンダード」(*)の定着を目指します。

※ 区立小・中学生等に確実に身に付けさせたい内容を明らかにし、その定着を目指して全校で取り組んでいく「こうとう学びスタンダード」の取り組みのひとつ。現在、「英語」のほか「学び方」「体力」「国語」「算数」「数学」に取り組んでいる

◆実績・背景

- 「こうとう学びスタンダード」定着度調査では、英語は高い正答率となっています。
(平成29年度:小学5年生91.0%、小学6年生84.2%)
- 新学習指導要領(平成32年度から実施)で英語教育の充実が盛り込まれ、小学5・6年生の英語の教科化(年間70時間)、小学3・4年生からの外国語活動(年間35時間)の導入が決定しています。

◆外国人講師派遣時間数(小学校等)

学年	派遣時間数(各学級・年間)	
	現行	拡充後
1・2年生	5時間	5時間(±0)
3・4年生	5時間	10時間(+5)
5・6年生	20時間	25時間(+5)
特別支援学級	なし	5時間(+5)

※ 中学校等の年間派遣時間数:各学級35時間、特別支援学級5時間



長期計画の該当項目：施策8 確かな学力・豊かな人間性・健やかな体の育成

担当課：指導室
窓口：6階4番

電話：3647-9179
内線：3386

課題を抱えるこどもたちへのサポートを充実

スクールソーシャルワーカーを増員し、支援体制を強化

学校と関係機関の更なる連携強化を図ります！

事業の拡充

事業経費

496万円

◆事業内容

スクールソーシャルワーカーを3名から4名に増員し、不登校や自身を取り巻く環境に課題を抱えるこどもたち・家庭に直接働きかけ、関係機関とのネットワークの構築を図り、こどもたちへのきめ細やかな支援を迅速に行います。

◆目的・効果

- こどもたちを取り巻く環境に働きかけ、いじめ・不登校・児童虐待など、健全育成上の課題に対応することを目的としています。
- 学校訪問・家庭訪問や関係機関との連携等を行い、こどもたちが日常生活の中で直面する様々な困難に対して、こどもの側に立って解決することができます。
- スクールソーシャルワーカーを増員することで、近年増加するケースや相談に迅速、丁寧に対応することができます。

◆実績・背景

- 区では平成26年度からスクールソーシャルワーカーを配置しています。
- スクールソーシャルワーカーの学校・家庭への訪問件数は、平成26年度は116件、平成27年度は258件、平成28年度は709件と、増加しています。

◆スクールソーシャルワーカーの概要

目的	こどもたちを取り巻く環境に働きかけ、いじめ・不登校・児童虐待など、健全育成上の課題に対応
主な活動	学校、家庭、関係機関相互のネットワークの構築と調整
効果	学校や生活・家庭環境といったこどもたちを取り巻く環境面からアプローチを図り、課題を解決
資格	社会福祉士、精神保健福祉士 等
配置	(現行) 3名配置 (拡充後) 4名配置(1名増員) 区内を4ブロックに分け、各ブロックに1名配置



長期計画の該当項目：施策9 安心して通える楽しい学校（園）づくりの推進

担当課：指導室
窓口：6階4番

電話：3647-9179
内線：3386

増加する児童への対応

新たに東川小学校を増築

集合住宅の建設に伴う児童の学習環境の確保に向けて！

新たな取り組み

事業経費	事業名	30年度	総事業費
	東川小学校増築事業	5,119万円	10億8,050万円
	平久小学校増築事業	2億5,281万円	7億5,602万円
	扇橋小学校増築事業	2億6,230万円	6億3,483万円
	豊洲西小学校増築事業	8,363万円	21億5,383万円

◆事業内容

- 区内の集合住宅の建設に伴う児童の増加に対応するため、新たに東川小学校の校舎の増築計画を進め、平成33年4月からの供用開始を予定しています。
- 平久小学校・扇橋小学校は平成32年4月、豊洲西小学校は平成33年4月の供用開始(予定)とするため、増築計画を進めています。

◆目的

区内の集合住宅の建設が進むことから、児童の良好な学習環境の確保を図ります。

◆整備概要

学校名	所在地	スケジュール	
東川小学校	住吉一丁目12番2号	平成30年度 平成31～32年度 平成32年11月	実施設計 工事 竣工
平久小学校	木場一丁目2番2号	平成29年度 平成30～31年度 平成31年7月	実施設計 工事 竣工
扇橋小学校	石島18番5号	平成29年度 平成30～31年度 平成31年11月	実施設計 工事 竣工
豊洲西小学校	豊洲五丁目1番35号	平成28年度 平成30年度 平成31～32年度 平成33年3月	基本計画 実施設計 工事 竣工



東川小学校(現況)



豊洲西小学校(現況)

長期計画の該当項目：施策9 安心して通える楽しい学校(園)づくりの推進

担当課：学校施設課
窓口：6階8番

電話：3647-9173
内線：3271

こどもたちが健やかに成長できる環境を創り出す

江東区こども・子育て支援事業計画改定へ意向調査等を実施

対象年齢・内容を拡大し、ニーズをきめ細かく把握！

事業の拡充

事業経費

1,258万円

◆事業内容

子ども・子育て支援法に基づく、子育て支援の総合計画である「江東区こども・子育て支援事業計画」(※)の改定に向けた「区民意向調査」及び「子育て世帯の生活実態調査」を実施します。

※ 一人ひとりのこどもが地域社会の中で、健やかに成長していける環境を創り出すために必要な事業量やその確保方を定めたもの
(例)区民意向調査等を踏まえた、各年度における保育施設や放課後事業を必要とする人数とその確保方策等

◆背景・目的

- 平成27年3月に策定した「江東区こども・子育て支援事業計画」が平成31年度で終了することから、平成30年度及び平成31年度の2か年で改定を進めます。
- 区民意向調査において区民のニーズを把握するとともに、こどもの貧困対策を計画に取り込むため、生活実態調査を合わせて実施し、地域のこども・子育てに関する総合的な支援施策の展開に必要な分析を行います。

◆スケジュール

年度	内容
平成30年度	改定に向けた区民意向調査・子育て世帯の生活実態調査の実施
平成31年度	計画改定作業



江東区こども・子育て支援事業計画(概要版)

◆効果・特色

- 区民意向調査の対象者を前回の乳幼児～小学生の保護者に加え、中・高校生本人も対象とすることで、きめ細かくニーズを把握し、よりの確に計画への反映を図ります。
- 子育て世帯の生活実態調査を行うことで、現状を踏まえたこどもの貧困対策の基礎資料とします。

◆計画策定時の区民意向調査概要(平成25年)

対象者	配布数	有効回収率	調査内容(抜粋)
就学前児童(0～5歳)の保護者	3,000部	61.0%	子育ての不安内容 保育施設の利用状況 等
小学生(1～3年生)の保護者	1,200部	68.8%	入学時の不安内容 放課後事業の利用状況 等

長期計画の該当項目：施策7 子育て家庭への支援

担当課：子育て支援課
窓口：3階15番

電話：3647-4407
内線：2710